



トステム株式会社

ユニットひさし スリムアート 100・200/ R300・R500 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※ □内はロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 取付け強度不足になり落下事故の原因となりますので下記事項をお守りください。
 - ・取付けねじの躯体へのねじ込み深さは、30mm以上確保できることを確認してください。(図-1)
 - ・躯体へのねじ込み深さが30mm以上確保できない場合は、別途ねじ込み深さが30mm以上確保できるねじをご用意ください。又R300とR500は必ずひさしの上側と下側すべてのねじ穴を固定してください。
 - ・施工前に必ず建築図面などから、躯体(柱など)、胴縁の位置や外装材、下地材の厚さを確認してください。(図-1、表-1)
 - ・厚さ105mm以上のまぐさを施工してください。取付ける躯体(柱など)が確認できない場合は、取付けは行わないでください。
 - ・本製品に体重をかけたり、はしごを掛けたりしないでください。(図-2)
 - ・本製品は一般在来工法および2×4工法などの木造納まり専用です。木造以外(鉄筋コンクリート・プレハブ造・ALC造)への取付けは行わないでください。
 - ・窯業サイディングで金具止め通気工法などの胴縁を使用しない場合は、金具とねじが干渉しない位置に取付けてください。又外壁破損の原因となりますので、ひさし取付け部分には必ず下地材(胴縁)を施工してください。
 - ・外壁のソリや凹凸寸法が5mm未満であることを確認してください。5mm以上の場合は取付けしないでください。
 - ・本体の取付け穴をあけ直す場合は、躯体(柱など)に合わせてひさしの幅500mm以内に2本以上のねじで取付けを行ってください。
 - ・必ず指定の太さのドリルを使用し、同梱のねじを使用してください。
 - ・外壁の下穴はφ4mmのドリルをご使用ください。躯体に下穴をあける場合はφ3mmのドリルをご使用ください。
- けがや破損の原因となりますので、ひさしWが大きい場合や取付け作業が不安定な場合は2名以上で施工してください。
- 脱落のおそれがありますので、上から落雪のある箇所へは取付けしないでください。

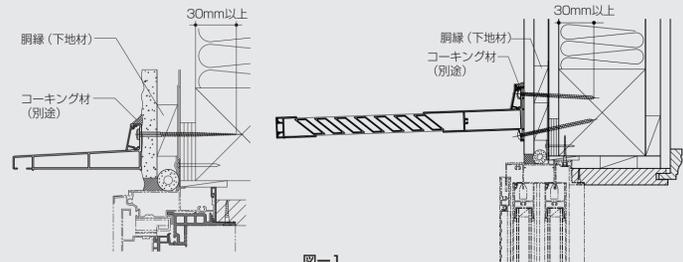


図-1

	ねじ	対応外壁厚
スリムアート100	バインドコーススレッドφ4.1×75	43mm
スリムアート200	ナベタッピンφ5×90	54mm
スリムアートR300		
スリムアートR500		

表-1

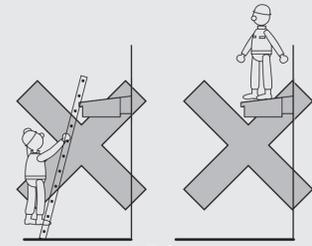


図-2

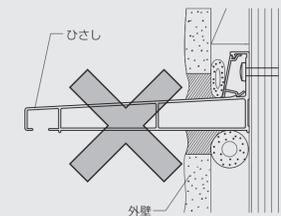


図-3

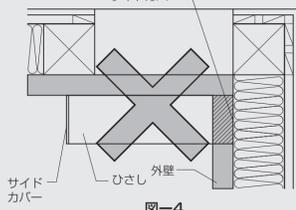


図-4

- 漏水の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・本製品は壁付け専用です。本製品のサイドカバー部を外壁内部に埋込まないでください。(図-3、4)
 - ・サイドカバー部のすき間から入った水が躯体内部に回るおそれがあります。外壁仕上がり後に取付けてください。
 - ・ひさしの取付けは、下地材の入っている箇所を取付けてください。下地材のない箇所を取付けると外壁の割れやつぶれの原因となります。(図-1)
 - ・外壁材に穴をあけてねじ止めするところは、あらかじめねじ穴にコーキング材を充てんした後ねじ止めしてください。
 - ・外壁材とサッシ、ひさしと外壁材の取合い部には、必ずコーキング材を充てんしてください。
 - ・出窓の屋根としての使用はしないでください。
- ひさし取付け位置に干渉しないように足場を設置してください。

■取付け上のおお願い

- ひさし本体の取付け穴をあけ直す場合は、表-2にしたがって取付け穴をあけ直してください。
- モルタル外壁、窯業サイディング専用です。他の外壁への取付けはできません。金属サイディングなどは外壁のつぶれの原因となります。

	穴径 (mm)
スリムアート100	φ4.5
スリムアート200	
スリムアートR300	φ5.5
スリムアートR500	

表-2

■部材・部品一覧

	ひさし本体	目板	部品セット	施工ピンセット	取付け説明書
100/200			 φ4.2×75 4本入り		
R300/R500			 φ5×90 4本入り 1~5セット		
	1体	1本		1セット※200のみ	1枚

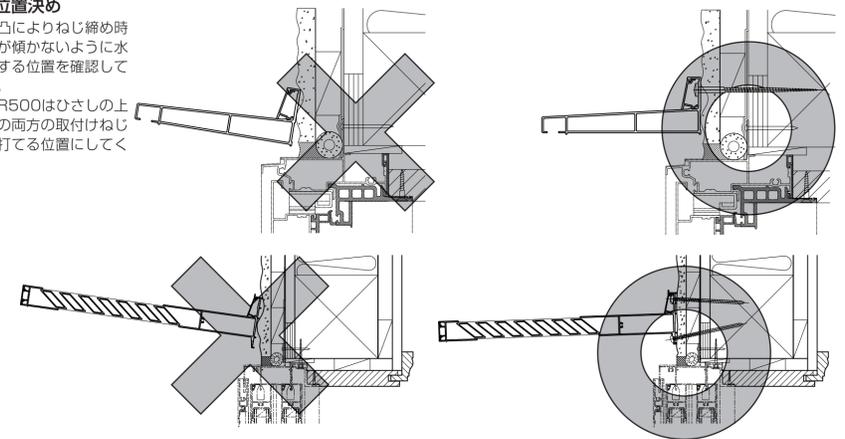
■取付け順序

1 取付け位置決め

■取付け詳細

1 取付け位置決め

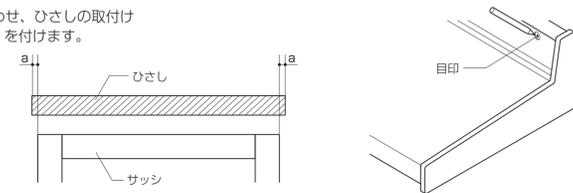
- 外壁の凹凸によりねじ締め時にひさしが傾かないように水平に安定する位置を確認してください。
- R300・R500はひさしの上側と下側の両方の取付けねじが躯体に打てる位置にしてください。



2 取付け穴の位置決め

2 取付け穴の位置決め

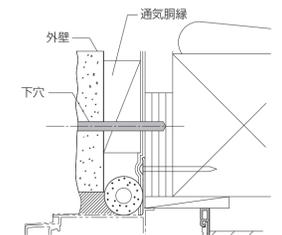
- サッシに対して左右の位置を合わせ、ひさしの取付け位置を決めて目印(マーキング)を付けます。



3 取付け穴あけ

3 取付け穴あけ

- 取付け穴の目印に合わせて外壁に下穴をあけてください。必ず躯体(柱など)に打てることを確認してください。
- φ4のドリルを使用してください。



▲注意

- 必ず指定の太さのドリルをご使用ください。
- 躯体に下穴をあけないようにご注意ください。
- ねじが入りにくい場合はφ3のドリルをご使用ください。

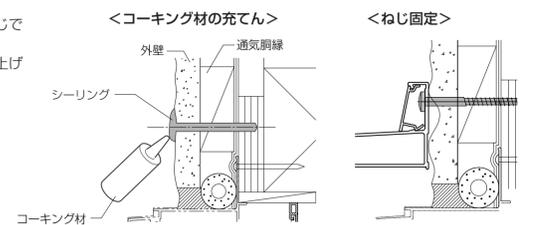
4 ひさしの取付け

4 ひさしの取付け

- ひさしを外して下穴にコーキング材を充てんしてからねじで固定してください。
- コーキング材は、穴の縁にも外壁のくぼみより厚く盛り上げてください。

▲注意

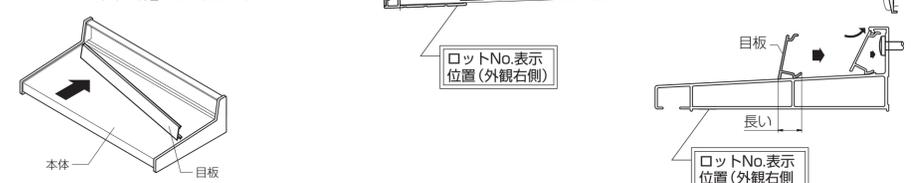
- 指定箇所には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- 必ず同梱のねじをお使いください。



5 目板の取付け

5 目板の取付け

- 本体に沿って目板を確実にめ合わせてください。
- 目板には向きがあります。右図を確認ください。
- 目板のはめ合わせが固い場合は、当て木を当ててハンマーでたたき込んでください。



6 ひさしと外壁のシーリング

6 ひさしと外壁のシーリング

- ひさしの上面・両側面と外壁との取合い部分にコーキング材を充てんしてください。

▲注意

- 指定箇所には、必ずコーキング材を充てんしてください。

